

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	9	竹 田 努	<p>1. 人口減少施策、高齢者を守る施策について</p> <p>多くの自治体において共通の課題である人口減少は、歯止めのかからない状況に苦慮しているところではありますが、4月から「移住定住新生活しあわせサポート条例」が運用され、移住者や定住者の増加に期待をしているところです。</p> <p>一方で、第6次木古内町振興計画は、令和5年度が最終年で、しっかりとした検証や次期計画の素案づくりなど、重要な局面を迎えていると認識をしています。</p> <p>そんな中、町の高齢化率も50%を超え、人口の半分以上が高齢者となっており、町では高齢者施策として、訪問・外出支援サービスや緊急通報機器等々のサービスを行っています。</p> <p>高齢者は、年を重ねる毎に、様々な不安や悩みを抱えて生活をされますが、最近特に、高齢者をねらった詐欺被害の注意喚起が防災行政無線で流れています。新聞報道等でも毎日のように詐欺被害の記事が出ており、木古内町においても何らかの防止策が必要であると感じます。</p> <p>そこで高齢者の安心安全の観点から、下記項目について見解を求めます。</p> <p>(1) 移住定住施策「サポート条例」においては、都会から田舎に移住したい高齢者等に魅力ある、住んでみたいと感じるような整備が必要と考えますが如何か。</p> <p>(2) 第7次振興計画策定にかかる「まちづくり委員」の公募については、高齢化率50%の町の状況を考慮し、高齢者も委員に参画すべきと考えるが如何か。</p> <p>(3) 詐欺防止策として「防犯機能付き電話」を購入する際の補助金等の支援策の導入について。</p> <p style="text-align: right;">町 長</p>